2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　テルモ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4543　URL　https://www.terumo.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長CEO　（氏名）鮫島　光
問合せ先責任者　（役職名）経営役員CFO、CIO　（氏名）萩本　仁　（TEL）03-6742-8550

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　2026年12月２日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前中間利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	624,501	16.7	70,802	△29.9	69,523	△31.3	54,617	△29.0	54,617	△29.0	35,499	△59.7
2026年３月期中間期	534,930	5.2	100,983	15.1	101,212	18.9	76,897	21.7	76,897	21.7	88,008	―

	基本的１株当たり中間利益	希薄化後１株当たり中間利益
	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	37.02	37.02
2026年３月期中間期	52.13	52.12

（参考）調整後営業利益　2027年３月期中間期　147,323百万円　2026年３月期中間期　114,401百万円

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	2,238,896	1,598,054	1,598,054	71.4
2026年３月期	2,312,234	1,584,509	1,584,509	68.5

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	15.00	―	15.00	30.00
2027年３月期	―	18.00			
2027年３月期(予想)			―	18.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		調整後営業利益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	1,219,500	7.7	271,500	23.8	119,000	△32.5	87,500	△35.6	59.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

・連結業績予想については、本日（2026年11月12日）公表の「2027年３月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
・通期業績予想前提レート：１ドル＝155円、１ユーロ＝180円

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　ー社　（社名）　ー、除外　ー社　（社名）　ー

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

（注）詳細は、添付資料11ページ「２．要約中間連結財務諸表及び主な注記（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年３月期中間期	1,480,559,680株	2026年３月期	1,480,559,680株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	5,326,447株	2026年３月期	5,476,639株
③　期中平均株式数(中間期)	2027年３月期中間期	1,475,145,153株	2026年３月期中間期	1,474,995,240株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料]４ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（４）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

２.調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いているため、開示しております。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）キャッシュ・フローに関する説明 …… 4
（４）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 …… 4
２．要約中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）要約中間連結財政状態計算書 …… 5
（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 …… 7
（要約中間連結損益計算書） …… 7
（要約中間連結包括利益計算書） …… 8
（３）要約中間連結持分変動計算書 …… 9
（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項 ……11
（継続企業の前提に関する注記） ……11
（会計方針の変更） ……11
（セグメント情報） ……12
（非金融資産の減損） ……13
（企業結合等関係） ……14
（重要な後発事象） ……15

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日、以下「当中間期」）においては、グローバルで医療需要が拡大、為替も寄与し、当社グループの販売は好調に推移しました。

当中間期の業績は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	伸長率（%）	為替影響除く伸長率(%)
売上収益	534,930	624,501	16.7	8.0
売上総利益	292,464	345,020	18.0	8.8
調整後営業利益	114,401	147,323	28.8	16.6
営業利益	100,983	70,802	△29.9	△35.1
税引前中間利益	101,212	69,523	△31.3	－
中間利益	76,897	54,617	△29.0	－
親会社の所有者に帰属する中間利益	76,897	54,617	△29.0	－

当中間期の地域別売上収益は以下のとおりです。

（単位：百万円）

地域	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	伸長率（%）	為替影響除く伸長率(%)
米州	207,061	253,172	22.3	10.3
欧州	112,247	129,812	15.6	7.9
中国	45,113	53,894	19.5	2.6
アジア他	60,736	73,351	20.8	11.1
海外計	425,159	510,230	20.0	8.9
日本	109,770	114,270	4.1	4.1
合計	534,930	624,501	16.7	8.0

＜売上収益＞

売上収益は、前年同期比16.7%増の6,245億円となりました。

海外は、アクセス製品を中心としたインターベンショナルシステムズ事業や、血液・細胞テクノロジーカンパニーの主要ビジネスが拡大、為替も寄与し、前年同期比20.0%の増収となりました。

日本は、ニューロ事業やホスピタルケアソリューション事業、ファーマシューティカルソリューション事業の売上が好調に推移し、前年同期比4.1%の増収となりました。

＜利益＞

売上総利益は、売上収益の増加に加え、主に第１四半期に米国関税の還付を受けたことが寄与し、前年同期比18.0%増の3,450億円となりました。

調整後営業利益は、売上総利益の増加により、前年同期比28.8%増の1,473億円となりました。

営業利益、中間利益、親会社の所有者に帰属する中間利益は、売上総利益の増加や第１四半期に計上した受取和解金による押し上げがあったものの、主要取引先との供給契約の解除に伴う関連資産の減損損失等を計上したことが影響し、いずれも減益となりました。

なお、当社グループは、当社グループが適用する会計基準であるIFRSにおいて定義されていない、調整後営業利益という業績管理指標を追加的に開示しております。調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益であり、セグメント利益と一致しています。

調整後営業利益は、当社グループが中長期的に持続的な成長を目指す上で、各事業運営の業績を把握するために経営管理に利用している指標であり、財務諸表の利用者が当社グループの業績を評価する上でも、有用な情報であると考えております。

報告セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

（単位：百万円）

報告セグメントの名称		前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	伸長率 （%）	為替影響除く 伸長率(%)
心臓血管カンパニー	売上収益	322,053	372,286	15.6	5.7
	（海外）	294,011	343,501	16.8	5.9
	（日本）	28,041	28,784	2.6	2.6
メディカルケアソリューションズカンパニー	売上収益	105,639	115,626	9.5	6.4
	（海外）	30,367	37,023	21.9	10.9
	（日本）	75,272	78,603	4.4	4.4
血液・細胞テクノロジーカンパニー	売上収益	107,074	124,794	16.5	6.7
	（海外）	100,781	118,079	17.2	6.7
	（日本）	6,292	6,715	6.7	6.7
オーガンテクノロジーズ事業	売上収益	－	11,626	－	－
	（海外）	－	11,626	－	－
	（日本）	－	－	－	－

＜心臓血管カンパニー＞

海外は、インターベンショナルシステムズ事業を中心に伸長し、前年同期比16.8%の増収となりました。日本は、ニューロ事業の売上が好調に推移しましたが、アオルティック事業が減収し、前年同期比2.6%の増収となりました。

その結果、グローバルの売上収益は前年同期比15.6%増の3,723億円となりました。

＜メディカルケアソリューションズカンパニー＞

日本は、ホスピタルケアソリューション事業及びファーマシューティカルソリューション事業が伸長し、前年同期比4.4%の増収となりました。海外は、欧州及びアジアを中心に売上が増加し、前年同期比21.9%の増収となりました。

その結果、グローバルの売上収益は前年同期比9.5%増の1,156億円となりました。

＜血液・細胞テクノロジーカンパニー＞

海外は、欧米における主要ビジネスが成長し、前年同期比17.2%の増収となりました。日本は、採血関連製品の売上が堅調に推移し、前年同期比6.7%の増収となりました。

その結果、グローバルの売上収益は前年同期比16.5%増の1,248億円となりました。

＜オーガンテクノロジーズ事業＞

当社は、2025年10月29日付でオーガノックス，Ltd.の全株式を取得し、同社を完全子会社化したことに伴い、取得日以降の同社の業績を連結業績として開示しております。

当該セグメントの売上収益は、北米市場を中心とした事業拡大により、116億円となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産合計は、733億円減少して２兆2,389億円となりました。これは主に、減損損失の計上等により有形固定資産が644億円減少、為替相場が円高方向に推移した影響及び減損損失の計上等によりのれん及び無形資産が393億円減少した一方、事業規模の拡大等により現金及び現金同等物が310億円増加したことによるものです。

負債合計は、869億円減少して6,408億円となりました。これは主に、長期借入金の返済等により社債及び借入金が629億円減少、賞与の支給等によりその他の流動負債が129億円減少したことによるものです。

資本合計は、135億円増加して１兆5,981億円となりました。これは主に、中間利益の計上により546億円増加した一方で、剰余金の配当により221億円減少、為替相場が円高方向に推移した影響等に伴うその他の包括利益の計上により191億円減少したことによるものです。

（３）キャッシュ・フローに関する説明

（単位：百万円）

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,987	149,588	47,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,008	△27,031	43,976
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37,951	△88,740	△50,788
現金及び現金同等物の中間期末残高	217,155	311,477	94,322

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,496億円となりました。税引前中間利益695億円、減損損失705億円、減価償却費及び償却費545億円、法人所得税の支払額351億円が主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、270億円となりました。生産設備等への投資に伴う有形固定資産の取得による支出297億円、新ITシステムへの投資等に伴う無形資産の取得による支出104億円、オーガノックス，Ltd.の取得対価の決定による追加支払等に伴う関係会社又はその他の事業の取得による支出63億円、有価証券の売却による収入186億円が主な要因です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、887億円となりました。長期借入金の返済による支出2,700億円、配当金の支払額221億円、社債の償還による支出100億円、社債の発行による収入1,192億円、長期借入れによる収入988億円が主な要因です。

また、上記に加えて、現金及び現金同等物に係る換算差額により28億円減少した結果、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、前連結会計年度末より310億円増加して3,115億円となりました。

（４）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

主要取引先との供給契約の解除に伴う関連資産の減損損失等の計上に加え、アオルティック事業における一部製品の自主回収の影響および同事業に関連する資産価値に係るリスク等を保守的に織り込むとともに、ニューロ事業における一時的な供給制約の影響を反映したことから、売上収益、調整後営業利益、営業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益の予想値をそれぞれ下方修正しました。

なお、アオルティック事業に関連する資産価値への影響額については、現時点で確定したものではありません。今後、事業方針および事業計画の検討を進め、その内容を踏まえて資産価値を精査していきます。

詳細については、2026年10月８日公表の「主要取引先との供給契約の解除に伴う損失等の計上、および2027年３月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」および2026年11月12日公表の「2027年３月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．要約中間連結財務諸表及び主な注記

（１）要約中間連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	280,494	311,477
営業債権及びその他の債権	214,927	205,861
その他の金融資産	236	143
棚卸資産	335,634	333,303
未収法人所得税等	2,644	2,235
その他の流動資産	27,102	24,722
流動資産合計	861,040	877,744
非流動資産		
有形固定資産	506,481	442,045
のれん及び無形資産	803,410	764,102
持分法で会計処理されている投資	1,544	2,671
その他の金融資産	65,085	53,625
繰延税金資産	45,107	67,705
その他の非流動資産	29,565	31,001
非流動資産合計	1,451,194	1,361,151
資産合計	2,312,234	2,238,896

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	89,756	76,764
社債及び借入金	279,886	69,972
その他の金融負債	8,969	9,137
未払法人所得税等	36,830	37,844
引当金	260	262
その他の流動負債	125,028	112,099
流動負債合計	540,731	306,081
非流動負債		
社債及び借入金	99,910	246,969
その他の金融負債	39,257	40,076
繰延税金負債	25,671	23,658
退職給付に係る負債	6,214	5,438
引当金	921	927
その他の非流動負債	15,018	17,689
非流動負債合計	186,993	334,760
負債合計	727,725	640,842
資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	51,720	51,592
自己株式	△14,517	△14,119
利益剰余金	1,116,479	1,151,898
その他の資本の構成要素	392,110	369,966
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,584,509	1,598,054
資本合計	1,584,509	1,598,054
負債及び資本合計	2,312,234	2,238,896

（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

（要約中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	534,930	624,501
売上原価	242,466	279,480
売上総利益	292,464	345,020
販売費及び一般管理費	189,862	219,278
その他の収益	5,196	22,499
その他の費用	6,813	77,439
営業利益	100,983	70,802
金融収益	1,896	3,308
金融費用	1,296	4,527
持分法による投資損失	△370	△59
税引前中間利益	101,212	69,523
法人所得税費用	24,315	14,906
中間利益	76,897	54,617
中間利益の帰属		
親会社の所有者	76,897	54,617
中間利益	76,897	54,617
１株当たり中間利益		
基本的１株当たり中間利益（円）	52.13	37.02
希薄化後１株当たり中間利益（円）	52.12	37.02

（要約中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間利益	76,897	54,617
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△506	3,144
確定給付制度の再測定	44	143
純損益に振り替えられることのない項目合計	△462	3,288
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	11,573	△21,118
ヘッジコスト	－	△1,287
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	11,573	△22,405
その他の包括利益	11,111	△19,117
中間包括利益	88,008	35,499
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	88,008	35,499
中間包括利益	88,008	35,499

（注）　上記の計算書の項目は、税引後で開示しております。

（３）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	合計	資本合計
2025年４月１日時点の残高	38,716	51,725	△14,866	1,016,160	276,800	1,368,535	1,368,535
中間利益	－	－	－	76,897	－	76,897	76,897
その他の包括利益	－	－	－	－	11,111	11,111	11,111
中間包括利益合計	－	－	－	76,897	11,111	88,008	88,008
自己株式の取得	－	－	△1	－	－	△1	△1
自己株式の処分	－	△40	52	－	△12	0	0
剰余金の配当	－	－	－	△19,174	－	△19,174	△19,174
利益剰余金から資本剰余金への振替	－	62	－	△62	－	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	－	44	△44	－	－
株式報酬取引	－	△150	268	－	49	167	167
所有者との取引額合計	－	△128	320	△19,192	△6	△19,007	△19,007
2025年９月30日時点の残高	38,716	51,596	△14,546	1,073,865	287,904	1,437,536	1,437,536

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	合計	資本合計
2026年４月１日時点の残高	38,716	51,720	△14,517	1,116,479	392,110	1,584,509	1,584,509
中間利益	－	－	－	54,617	－	54,617	54,617
その他の包括利益	－	－	－	－	△19,117	△19,117	△19,117
中間包括利益合計	－	－	－	54,617	△19,117	35,499	35,499
自己株式の取得	－	－	△0	－	－	△0	△0
自己株式の処分	－	△34	91	－	△57	0	0
剰余金の配当	－	－	－	△22,126	－	△22,126	△22,126
利益剰余金から資本剰余金への振替	－	88	－	△88	－	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	－	3,016	△3,016	－	－
株式報酬取引	－	△182	307	－	47	172	172
所有者との取引額合計	－	△128	398	△19,198	△3,026	△21,954	△21,954
2026年９月30日時点の残高	38,716	51,592	△14,119	1,151,898	369,966	1,598,054	1,598,054

（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	101,212	69,523
減価償却費及び償却費	42,847	54,486
減損損失	4,530	70,522
持分法による投資損益（△は益）	370	59
退職給付に係る資産及び負債の増減額	810	△1,956
受取利息及び受取配当金	△1,864	△3,308
支払利息	885	3,287
為替差損益（△は益）	△2,888	△3,534
固定資産除売却損益（△は益）	255	192
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△8,620	6,408
棚卸資産の増減額（△は増加）	△13,573	△7,493
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△2,380	△2,163
その他	1,763	△2,780
小計	123,348	183,244
利息及び配当金の受取額	1,917	3,414
利息の支払額	△938	△1,983
法人所得税の支払額	△22,340	△35,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,987	149,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△127	△558
定期預金の払戻による収入	203	335
有形固定資産の取得による支出	△35,455	△29,659
有形固定資産の売却による収入	97	137
無形資産の取得による支出	△6,476	△10,394
政府補助金による収入	68	4,418
有価証券の取得による支出	△3,065	△3,625
有価証券の売却等による収入	－	18,606
関係会社又はその他の事業の取得による支出	△26,253	△6,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,008	△27,031
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	－	98,770
長期借入金の返済による支出	△15,000	△270,000
社債の発行による収入	－	119,190
社債の償還による支出	－	△10,000
リース負債の返済による支出	△3,781	△4,583
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△19,169	△22,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37,951	△88,740
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,255	△2,833
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,717	30,983
現金及び現金同等物の期首残高	221,872	280,494
現金及び現金同等物の中間期末残高	217,155	311,477

（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

当社グループは、当中間連結会計期間より以下の基準を適用しております。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IFRS第９号 IFRS第７号	金融商品 金融商品：開示	金融商品の分類及び測定に関する基準（IFRS第９号とIFRS第７号）の改訂 ・環境、社会及びコーポレート・ガバナンス（ESG）要素並びに類似の要素を含んだ金融資産の分類の明確化 ・電子送金システムを通じて決済された金融負債の認識の中止 ・その他の包括利益を通じて公正価値で測定することを選択した資本性金融商品への投資に関する開示

上記基準書の適用による当要約中間連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

（セグメント情報）

(1) 報告セグメントに関する基礎

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う製品について日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

2025年10月29日付でオーガノックス，Ltd.の全株式を取得し、完全子会社化したことにより、前連結会計年度より、「オーガンテクノロジーズ事業」を報告セグメントとして追加しております。

したがって、当社は、社内カンパニー制、または製品群別のセグメントを基礎として構成された「心臓血管カンパニー」、「メディカルケアソリューションズカンパニー」、「血液・細胞テクノロジーカンパニー」及び「オーガンテクノロジーズ事業」の４つを報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額(注)１	要約中間連結財務諸表計上額
	心臓血管カンパニー	メディカルケアソリューションズカンパニー	血液・細胞テクノロジーカンパニー	オーガンテクノロジーズ事業	合計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	322,053	105,639	107,074	－	534,766	163	534,930
セグメント利益（調整後営業利益）	87,016	13,530	15,623	－	116,169	△1,768	114,401
（調整項目）							
買収無形資産の償却費	△4,764	－	△5,374	－	△10,138	89	△10,048
一時的な損益(注)２							△3,369
営業利益							100,983
金融収益							1,896
金融費用							△1,296
持分法による投資損益							△370
税引前中間利益							101,212

（注）１．調整額は以下のとおりです。

１）外部顧客への売上収益の調整額163百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。

２）セグメント利益の調整額△1,768百万円には、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△823百万円、棚卸資産の調整額511百万円等が含まれております。

２．一時的な損益△3,369百万円には、注記事項「（非金融資産の減損）」に記載の減損損失△4,530百万円、事業再編費用△1,344百万円、買収関連費用△1,176百万円、製薬会社との新規受託製造プロジェクトの中止に伴う損失補償3,684百万円が含まれております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額(注)１	要約中間連結財務諸表計上額
	心臓血管カンパニー	メディカルケアソリューションズカンパニー	血液・細胞テクノロジーカンパニー	オーガンテクノロジーズ事業	合計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	372,286	115,626	124,794	11,626	624,334	166	624,501
セグメント利益（調整後営業利益）	110,094	12,410	21,810	1,675	145,990	1,332	147,323
（調整項目）							
買収無形資産の償却費	△5,180	△16	△5,869	△3,185	△14,251	△74	△14,326
一時的な損益(注)２							△62,194
営業利益							70,802
金融収益							3,308
金融費用							△4,527
持分法による投資損益							△59
税引前中間利益							69,523

（注）１．調整額は以下のとおりです。

１）外部顧客への売上収益の調整額166百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。

２）セグメント利益の調整額1,332百万円には、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△617百万円、棚卸資産の調整額989百万円等が含まれております。

２．一時的な損益△62,194百万円には、注記事項「（非金融資産の減損）」に記載の減損損失、これに伴う関連費用がそれぞれ△70,121百万円、△6,256百万円、オーガノックス，Ltd.の買収に伴って認識した取得資産公正価値評価による棚卸資産ステップアップの費用化△5,120百万円、受取和解金20,100百万円等が含まれております。

（非金融資産の減損）

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

前中間連結会計期間に認識した減損損失4,530百万円は、主に以下の理由によるものです。

（米州子会社が保有するインターベンショナルシステムズ事業に関する独占販売権の契約見直し）

前中間連結会計期間において、心臓血管カンパニーに属する独占販売権について、提携方法の見直しに伴い同独占販売権に関する契約を終了したことによる減損損失4,380百万円を計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。その他の無形資産について認識した当該減損損失は、要約中間連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

当中間連結会計期間に認識した減損損失70,522百万円は、主に以下の理由によるものです。

（主要取引先との供給契約の解除）

当中間連結会計期間において、血液・細胞テクノロジーカンパニーに属する主要取引先との供給契約を、合意した移行期間の終了後に解除することを合意したことにより、減損損失70,121百万円を計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。当該減損損失の内訳は建物及び構築物3,058百万円、機械装置及び運搬具44,257百万円、建設仮勘定8,818百万円、開発資産12,449百万円、ソフトウェア1,536百万円です。当該減損損失は、要約中間連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

（企業結合等関係）

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

(1) 企業結合の概要

① 事業譲受の相手企業の名称及び事業の内容

事業譲受の相手企業の名称：WuXi Biologics社

事業の内容：医薬品開発製造受託（CDMO）

（注）CDMO企業である同社が保有していたドイツレバークーゼンの薬剤製品工場を取得しています。

② 取得日

2025年９月30日

③ 企業結合の主な理由

当社グループは、薬剤に適した素材を用いた薬剤充填用シリンジ等の容器並びに投与デバイスを開発するとともに、高度な製造技術を活かした医薬品と医療機器のコンビネーションプロダクトのCDMO事業を手掛けており、同事業のグローバル化を今後の成長戦略の一つとして位置付けております。

今回の買収で取得する薬剤製品工場を、当社グループとして初となる海外のCDMO生産拠点として活用することにより、生産キャパシティの拡充並びにグローバル対応力の強化を図り、CDMO事業のグローバル展開を加速させます。

(2) 取得対価、取得資産及び引受負債の公正価値、のれん（注）２

（単位：百万円）

科目	暫定的な公正価値	修正	修正後の公正価値
棚卸資産	156		156
有形固定資産	12,654	3,780	16,435
無形資産	568	△9	558
繰延税金資産	678	△612	65
資産合計	14,058	3,158	17,216
その他の金融負債	△117		△117
繰延税金負債	△139	△313	△453
負債合計	△256	△313	△570
支払対価（現金）（注）１	27,104		27,104
取得対価合計	27,104		27,104
為替換算差額		14	14
のれん（注）３	13,317	△2,844	10,473

（注）１．支払対価（現金）27,104百万円のうち26,184百万円を前中間連結会計期間で支払っております。

２．前中間連結会計期間においては取得原価の配分が完了しておらず、暫定的な金額となっておりましたが、前連結会計年度末に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、取得日における公正価値の当初測定額を修正しました。

３．のれんは、今後の事業展開により期待される将来の超過収益力です。税務上損金に算入されることが見込まれる金額の総額は10,473百万円です。

(3) 取得関連費用

当該企業結合に係る取得関連費用に重要性はありません。

(4) 被取得事業の売上収益及び当期利益

前中間連結会計期間は財政状態計算書のみを連結しているため、取得事業の業績は含まれておりません。

(5) 企業結合が期首に完了したと仮定した場合の連結に与える影響（プロフォーマ情報）

当該影響額に重要性が乏しいことから、記載を省略しております。なお、当該プロフォーマ情報は監査を受けておりません。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（企業結合）

Arsenal Medical社の買収（逆三角合併による完全子会社化）

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：Arsenal Medical, Inc.

被取得企業の事業の内容：バイオマテリアル技術を活用した医療機器開発

② 取得日 2026年10月２日

③ 企業結合の主な理由

本買収により、脳血管の液体塞栓技術を開発する米国企業Arsenal Medical社が開発中の液体塞栓材「NeoCast™」を取得し、脳血管治療領域における技術ポートフォリオを拡充するとともに、近年注目されている慢性硬膜下血腫（cSDH）の血管内治療への事業展開を加速します。

④ 被取得企業の支配を獲得した方法

当社グループが本買収のために設立した完全子会社とArsenal Medical社の合併による方法（逆三角合併）

(2) 取得対価

現金による取得対価約215百万米ドルのほか特定のマイルストーン達成に応じて支払いを行う条件付対価が付されております。

なお、本買収が完了した時期に起因し、要約中間連結財務諸表の承認日までに企業結合の当初の会計処理が完了していないため、取得日における取得資産及び引受負債の公正価値、のれん、条件付対価の公正価値、取得関連費用等については記載しておりません。